

胃透視検査

検査方法

バリウムを飲んで行う胃の検査です

バリウムと胃を膨らませる発泡剤を飲んで、撮影台の上で色々な方向に体位変換していただき撮影する検査です。飲むタイミングや体位変換の指示は技師がマイクで指示いたします。

検査時間

おおよそ 15 分です。

その他・注意事項

- 前日 21 時より、食べたり飲んだりなさらないでください。
- 金属(チャック、ホック等)やプラスチック(ボタン等)を外し検査着に着がえていただきます。
- 検査時、胃の動きを一時的に抑えるための注射をします。
 - ※緑内障、前立腺肥大、心臓疾患、膀胱炎をお持ちの方はお知らせ下さい。
 - ※注射の作用により目のかすみ、口の渇き、オシッコが出にくくなる場合がありますが、通常 1~2 時間で症状は消失します。
 - ※できるだけ、お車の運転は避けてください。
- バリウムによる副作用として、アレルギー症状が出る場合があります。以前に下記のような症状が現れた方は担当者にお知らせください。
(じんましん、気分が悪い、顔が青い、手足が冷たい、喉がつまる、息苦しい、息がしにくいなど)